

タイトル	効率的な市政運営(行財政改革)に関するアンケート
概要	本市ではこれまでも、【行財政改革プラン】を通じて、歳出削減や歳入確保などに繋がるあらゆる取組みを推し進めてきました。今回のアンケートは、“行財政改革”の取組みが、どの程度認識されているかを調査し、今後の施策に活用することを目的としております。ご回答の際は、添付資料【東大阪市行財政改革プラン2020】を参考にご覧ください。

対象者:300人 回答者数:269人 回答率 89.7%

1. 会員番号を入力してください。
(会員番号はメール本文に記載しています)
(必須。4文字以内。半角英数(記号))

2. 年齢を教えてください。(必須)

回答	選択人数	%	
10代	1人	0.4%	
20代	28人	10.4%	
30代	53人	19.7%	
40代	58人	21.6%	
50代	56人	20.8%	
60代以上	73人	27.1%	

3. 東大阪市行財政改革プランを知っていますか。(必須)

回答	選択人数	%	
知っている	62人	23.0%	
知らない	207人	77.0%	

「知っている」の回答が23.0%であり、東大阪市行財政改革プラン自体の認知度が低いことがわかります。

4. 問3で「知っている」と回答された方に質問です。
東大阪市行財政改革プランについて、どの程度知っていますか。

回答	選択人数	%	
具体的な取組項目まで知っている	5人	8.1%	
プランの目的や概要は知っている	26人	41.9%	
聞いたことはあるが、内容までは知らない	31人	50.0%	

「聞いたことはあるが、内容までは知らない」の回答が半数を占めており、知っている方の中でも具体的な内容まで知っている方は少ないことがわかります。

5. 東大阪市は効率的な市政運営が行われていると感じますか。(必須)

回答	選択人数	%	
感じる	31人	11.5%	
感じない	89人	33.1%	
わからない	149人	55.4%	

「わからない」の回答が半数以上を占めており、効率的な市政運営への具体的なイメージを持ちにくいことがわかります。

6. 問5で「感じる」と回答された方に質問です。
効率的な市政運営と感じる内容はどのようなものですか。

(6個以内)

回答	選択人数
民間事業者への委託について【布施駅前行政サービスセンターの窓口業務委託、公共施設(図書館など)の管理・運営委託など】	16人
各施設の廃止・新設等について【行政サービスコーナーの廃止、東大阪市文化創造館の建設など】	14人
市の財源(お金)の使い方について【歳入の確保、歳出の抑制など】	13人
市職員の体制(人数)・待遇(給与等)について【職員数の推移など】	12人
市民サービスの提供について【インターネットからの市税等の口座振替登録、待合発券時の広告画面など】	10人
その他	2人
未回答	1人

効率的な市政運営と感じる内容については、各項目に大きな差がないことがわかります。

7. 問6で「その他」と選択された方に質問です。具体的な内容を教えてください。（1000文字以内）	
回答（一部要約）	回答数：2
私は公務員の退職金と恩給は賛成です。東大阪市の施設を増やす事は、私はあまり好きではありません。	
ごみ収集方法や日程のHPでの開示は役に立ちます。図書館で借りていたり、予約した本の状況がHPで分かることは便利です。図書館の運営時間帯が長いのは使用者にとって好都合です。公共サービスの種々の情報がネットで分かるのはありがたいと思います。	

8. 効率的な市政運営(行財政改革)として、市に求めるものは何ですか。（1000文字以内）	
回答（一部要約・抜粋）	回答数：181
<総論>	
・行財政改革を行うには、前例にとられず、民間ではできないことを行い、現場を担う職員が連携して速やかに業務に当たることができる、現場重視の組織改革と市長も含め職員全体の意識改革を行うことが急務であると思う。税金を納めて良かったと思える東大阪市にして欲しい。	
・節約する方向が間違っていると思います。必要なところにはちゃんとお金をかけて欲しい。	
・効率的な市政運営をするのであれば、ラグビー場のようなハコモノに税金を使うのではなく、もっと採算の取れるものに税金を使うべきである。	
・市民全体に関わるような行革でないと関心が薄れる、若しくは気が付かない。	
<人件費・民間委託>	
・職員の削減による経費削減、行政改革としては、手を付けやすいし、市民にもアピールしやすい。ただ、それに伴う、市民に対する行政サービスの低下を感じさせない努力が必要不可欠。	
・民間委託できるものはもっとあるはず、ドンドン進めてもらいたい。職員の定員管理、まだまだ甘いと思います。市議会議員の総数をもう少し削減し、支出削減する事も考えるべきではないでしょうか。	
・簡素で効率的な市政運営をして欲しい、例えば民間にできることは民間に任せて、施策や事務事業、業務のアウトソーシングなど市職員を減らす事なく余裕を持って仕事ができるように推進し、市民への還元とサービス(対応)が疎かにならないようにして欲しい。	
<重点施策>	
・高齢者・障害者への施策、バリアフリーなど、先々の事を考えた人に優しい行政改革を求めます。	
・子育て世帯への支援の拡充です。もっと子育てに優しい市になれば、若い世代の転入も増え市の収入にも繋がると思います。	
・保育園などの待機児童をはじめ、子どもに関する部分へ使われると嬉しいです。	
・図書館貸出のシステム化、来館困難者への配送回収。	
<ICT推進・オンライン化>	
・事務作業はほとんどAI化できると考えられますので、そこに注力するのも良いと思います。	
・新型コロナウイルスによるテレワークの動きとともに、ネットワークで一元管理し、どの行政サービスセンターでも市民への必要な資料の提供や市民の情報の登録・訂正等で行えるように進めてみたらどうか。	
・諸手続き・申請・受取等でもっとオンライン化して欲しい。	
・各種支払いに電子決済ができると便利です。コンビニを利用しないので窓口支払いでは不便です。	
<公の施設>	
・本当に東大阪市財政赤字で、危険性があるならば、各施設の廃止と解体でしょう。	
・図書館、老人センター、リージョンセンターなどの効率的運用。	

9. 今回のアンケート内容についてご意見・ご要望等がございましたら、ご自由にご記入ください。（1000文字以内）	
回答（一部要約・抜粋）	回答数：118
このアンケートがなければ行財政改革プランを知ることもなかったの、この機会に知ることができてよかったと思う。	
効率的な市政運営が抽象的過ぎてアンケートにも答えづらかった。	
「行財政改革プラン」の中の具体的な取り組みについてなど、もう少しテーマを絞ってのアンケートになっている方がよいのではないかと感じました。	
今これよりコロナに対してのアンケートでしょ。こうゆうところから、市民感覚からズレすぎている。	
わたしのようになんかまだ市政運営について詳しくない市民は多いと思います。周知することをもっと工夫する余地はあるのではないかと思います。	
こうしたアンケートを通して集まった市民の意見を参考により良い市政の運営に反映して貰えるのなら、大変意義のある取り組みだと思います。	
このアンケートがなければなかなか東大阪市の財政について知ることはなかったと思うので、もっと若い人でも気軽に知ることのできる機会があればいいと思いました。	
市政をより良くしようと、こういった声を聞き取り、向上させようとするのがいいですね。	
携帯なので、少し見にくいと感じました。封書でいただけて、じっくり見て、携帯で回答という形だとありがたいなと思いました。	

【総括】
今回のアンケート結果について、「効率的な市政運営が行われていると感じる」と回答された方は11.5%、本市の行財政に関する計画である「東大阪市行財政改革プランを知っている」と回答された方は23%であることから、市が実施している行財政改革の取組みへの認知度や効果への実感は低く、まずは行財政改革プランの認知度を高め、各々の取組内容について知って頂く必要があることがわかりました。
また、「効率的な市政運営(行財政改革)として、市に求めるものは何ですか」という問いには、様々な視点から多くの意見を頂きましたので、市民目線、行政目線の双方の観点を取り入れながら、行財政改革を推し進めてまいります。

※「%」は小数点第2位を四捨五入しているため、合計値に誤差が生じる場合があります。